

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□■————— 2009. 1.27 Vol.75 ■□

いつもお世話になっております。「いいテク・ニュース」第75号をお届け致します。

本年最初のメルマガジンとなりました。世界的な不況の真っ只中ではありますが、本年も旬なビジネスチャンスや最新の技術開発、研究開発情報満載のセミナー・書籍情報をお届けしてまいりますので、お引き立ての程、宜しくお願い致します。

さて、今月号のメルマガでは、2009年3月度開催予定セミナー、2009年4月度開催予定セミナー[1/27時点で日時・内容確定分]及び新規取り扱い書籍・調査資料のご案内を致しております。

今回お届けする3月度開催開催予定セミナーでは、捨てられている熱や未利用熱の有効利用方法として注目を集める

『“熱電発電技術”最前線』

セミナーから、

『バイオマスエネルギービジネスの市場動向とビジネスチャンス』

『次世代型電池の材料開発における最新動向』

『分散型電源の系統連系技術と系統連系におけるコスト低減策』

といったエネルギー関連のホットなテーマを初め、幅広い分野のセミナーを取り揃えておりますので、どうぞ最後までお読み下さいませ。

□■————— ■□

i n d e x

□■————— ■□

- ◇セミナー情報[2009年3月度開催予定セミナー/30件
2009年4月度開催予定セミナー/ 2件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報 (13タイトル)
- ◇新規取り扱い調査資料情報 (5タイトル)
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇あとがき

□ ■ ----- ■ □

セミナー情報[2009年3月度開催予定セミナー/30件
2009年4月度開催予定セミナー/ 2件]

□ ■ ----- ■ □

弊社が主催・共催するセミナーを、日付順でご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

◇ ◆ 3月開催予定セミナー-----

■ 5日(木)・6日(金)-----

原理から理解し実務に役立つ!!
腐食のメカニズムと対策
～実験と個別相談付き連続セミナー～
第4回 腐食診断技術とその実際
<http://www.tic-co.com/seminar/20090371.htm>

■ 6日(金)-----

ーハードウェア・ソフトウェアよりも『ハートウェア』でー
実践国際交渉力開発講座
～海外におけるプラント受注から
開発設計、納期マネージメント、コストコントロールまで～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090372.htm>

■ 10日(火)-----

～機器開発・設計・技術担当者のための～
センサ回路の設計法
<http://www.tic-co.com/seminar/20090313.htm>

分散型電源の系統連系技術と系統連系におけるコスト低減策
<http://www.tic-co.com/seminar/20090319.htm>

バイオマスエネルギービジネスの市場動向とビジネスチャンス
<http://www.tic-co.com/seminar/20090328.htm>

～基礎から解析・寿命予測・耐疲労設計までを解説する～
金属材料における疲労破壊とFEMによる解析・評価
<http://www.tic-co.com/seminar/20090373.htm>

■ 11日(水)-----

配管設計の基本と押さえておきたい留意事項
～国内基準(KHK S 0801)をベースに
国際基準(ASME B31.3)との違いを交えて～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090308.htm>

“CO₂の有効利用技術”最前線
～CO₂（二酸化炭素）の原料化・燃料化技術の動向～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090323.htm>

植物環境制御技術
<http://www.tic-co.com/seminar/20090331.htm>

—信頼性と高性能化・最適化の実現に必須の—
モータ開発における連成シミュレーション技術
～電磁界と制御、パワエレ連成解析技術とその応用まで～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090374.htm>

■ 12日(木)-----

—外部の「知」との連携—
研究開発のオープン化戦略
～オープンイノベーション最前線～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090315.htm>

気体分離膜・透過膜の開発動向と応用展開
<http://www.tic-co.com/seminar/20090305.htm>

■ 13日(金)-----

省エネ法・温対法の改正と企業担当者の対応策
～国内CO₂排出総量規制の行方と
国内排出量取引の試行的実施の意味するもの～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090318.htm>

過熱水蒸気の特性・利用と応用展開
～いかなる優位性を持ち、どんなところで利用が可能か？～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090325.htm>

～環境激変時代の～
新製品開発のためのTRIZ実践
—個人・グループ演習を通して、高価なソフトなしでも
確実に成果が出る創造的思考法を身に付ける!!—
<http://www.tic-co.com/seminar/20090326.htm>

—製品の性能・快適性を果たすための—
スティックスリップのメカニズムとシステムデザイン
<http://www.tic-co.com/seminar/20090375.htm>

—好評につき免疫学第3弾—
免疫学の基礎と疾患、がん免疫の監視機構
<http://www.tic-co.com/seminar/20090376.htm>

■ 17日(火)-----

わかりやすい振動モード解析の実際

<http://www.tic-co.com/seminar/20090307.htm>

乾燥装置の基本設計と乾燥技術の実践活用

<http://www.tic-co.com/seminar/20090330.htm>

■ 18日(水)-----

～化学反応プロセスにおける～

反応暴走の事故事例と危険性評価・安全対策

<http://www.tic-co.com/seminar/20090322.htm>

磁気分離法による水処理技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20090327.htm>

－安全性と大出力を兼ね備えた－

次世代型電池の材料開発における最新動向

<http://www.tic-co.com/seminar/20090377.htm>

■ 19日(木)-----

潜在ニーズの抽出「見える化」手法

～評価グリッド法と「感動創出型」商品開発への活かし方～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090324.htm>

可視光反応型光触媒の開発と応用

<http://www.tic-co.com/seminar/20090311.htm>

“熱電発電技術”最前線

<http://www.tic-co.com/seminar/20090301.htm>

－ポスト三元触媒開発の更なる技術革新のための－

自動車触媒の構造・機能と劣化抑制技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20090378.htm>

■ 24日(火)-----

改善を“見える化”する技術

～業務効率化、コスト低減、顧客ニーズ、

品質等の“見える化”～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090329.htm>

■ 25日(水)-----

－人の感性からのアプローチ－

感性工学の基礎と人に優しい製品開発の実際

～広島国際大学感性工学実験室見学・相談付～
<http://www.tic-co.com/seminar/20090379.htm>

■ 26日(木)-----

～短期間かつ効率良く実施するための～
電子部品における信頼性試験およびデータ解析と評価《実習付》
<http://www.tic-co.com/seminar/20090380.htm>

■ 30日(月)-----

～実務経験豊富なスペシャリストが解説する～
金属材料の腐食メカニズムと余寿命予測（演習問題付き）
<http://www.tic-co.com/seminar/20090381.htm>

◇◆ 4月開催予定セミナー-----

■ 15日(水)-----

～次世代バイオマスエネルギーの可能性を秘めた！！～
微細藻類によるバイオ燃料生産システム構築と最新研究動向
<http://www.tic-co.com/seminar/20090471.htm>

■ 17日(金)-----

～簡単な演習で理解力アップ！！～
現場ですぐに役立つ生物工学の基礎と発酵プロセス制御手法
<http://www.tic-co.com/seminar/20090472.htm>

□ ■-----■ □

おすすめセミナーPick Up

□ ■-----■ □

今回のPick Upは

『 “熱電発電技術” 最前線 』

セミナーです

日本では年間で原油換算で数億キロリットルもの一時供給エネルギーを消費しているが、その70%近くが未利用のまま、排熱として棄てられている。

地球温暖化対策、省エネルギーの見地からも捨てられている熱や未利用熱等、熱エネルギーから発電を行う熱電発電技術が非常に注目されている。

本セミナーでは、熱電発電の原理・特徴を始め、利用・技術の動向、具体的なシステム・モジュールの開発と高効率化のポイント及び適用・事例紹介、又、材料の高性能化について、斯界の第一線でご活躍中の講師陣に詳しく解説頂きます。

●講 師 湘南工科大学 名誉教授
日本熱電学会 会長
工学博士 梶川武信 氏

●講 師 (株)東芝 電力システム社
電力・社会システム技術開発センター
高機能・絶縁材料開発部 参事 大石高志 氏

●講 師 (株)K E L K 社長付
北陸先端科学技術大学院大学
客員准教授 佐野精二郎 氏

●講 師 大阪大学 大学院 工学研究科
環境・エネルギー工学専攻 助教
博士(工学) 黒崎 健 氏

●日 時 2009年3月19日(木) 9:30~16:30

●会 場 東京・新お茶の水・総評会館 4F・402室

●受講料 49,980円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,730円)
※テキスト代、昼食代、お茶代、消費税を含む

●プログラム概要

I. 熱電発電技術の動向と今後の展望 (梶川 氏)

II. 低温度域の排熱を利用した熱電変換発電システムの開発
(大石 氏)

III. 熱電発電モジュール・システムの開発と適用 (佐野 氏)

IV. 排熱から電気を生み出す熱電変換材料の
特性評価・高性能化と開発動向 (黒崎 氏)

詳しい講義内容・お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにて
ご覧下さい。

<http://www.tic-co.com/seminar/20090301.htm>

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にごございますURLにて
ご案内致しております。

----- 《 新材料・新素材 》 -----

帯電防止材料の設計と使用法

<http://www.tic-co.com/books/09sta032.htm>

撥水・撥油の技術と材料

<http://www.tic-co.com/books/2009t658.htm>

----- 《 エネルギー 》 -----

有機薄膜太陽電池の最新技術Ⅱ

<http://www.tic-co.com/books/2009t657.htm>

リチウムイオン電池 この15年と未来技術

<http://www.tic-co.com/books/2009t650.htm>

----- 《 ファインケミカル 》 -----

化粧品の使用感評価法と製品展開

<http://www.tic-co.com/books/2009t654.htm>

----- 《 ニューバイオテクノロジー 》 -----

アグリバイオビジネス

—その魅力と技術動向—

<http://www.tic-co.com/books/2009t648.htm>

昆虫ミメティックス

～昆虫の設計に学ぶ～

<http://www.tic-co.com/books/08nts215.htm>

昆虫に学ぶ新世代ナノマテリアル

<http://www.tic-co.com/books/08nts213.htm>

----- 《 環境 》 -----

ホワイトバイオテクノロジー；エネルギー・材料の最前線

<http://www.tic-co.com/books/2009t647.htm>

欧州化学物質規制ハンドブック

～管理強化の動きから対応事例まで～

<http://www.tic-co.com/books/08nts216.htm>

----- 《 エレクトロニクス材料 》 -----

最新 電波吸収体設計・応用技術

<http://www.tic-co.com/books/2009t656.htm>

電磁シールド・電波吸収・放熱・帯電防止材料の市場

<http://www.tic-co.com/books/2009z187.htm>

----- 《 オプトエレクトロニクス 》 -----

立体視テクノロジー

～次世代立体表示技術の最前線～

<http://www.tic-co.com/books/08nts214.htm>

□ ■ ----- ■ □

新規取り扱い調査資料情報（5タイトル）

□ ■ ----- ■ □

新たにお取り扱い致します調査資料を、ご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にご致しますURLにて
ご案内致しております。

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>

特許情報分析(パテントマップ)から見た

「工作機械メーカー」の技術開発実態調査

－「工作機械メーカーの技術開発動向」と

「工作機械メーカーVS主要ユーザ」との比較・差異分析－

<http://www.tic-co.com/books/09ptt025.htm>

<技術開発の動向を予測して未来を眺望するためのコンパス>

特許情報分析(パテントマップ)から見た

ヒートアイランド対策

技術開発実態分析調査報告書

[CD付/対象公開特許情報データ]

<http://www.tic-co.com/books/09ptt024.htm>

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>

特許情報分析(パテントマップ)から見た

日産自動車分析

技術開発実態分析調査報告書

<http://www.tic-co.com/books/09ptt023.htm>

<他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス>

特許情報分析(パテントマップ)から見た

東レGと帝人G分析

技術開発実態分析調査報告書

<http://www.tic-co.com/books/09ptt022.htm>

＜他社の技術開発の実態を把握し、勝ち抜くためのエッセンス＞
特許情報分析(パテントマップ)から見た
花王分析
技術開発実態分析調査報告書
<http://www.tic-co.com/books/09ptt021.htm>

□ ■ ————— ■ □

セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10

□ ■ ————— ■ □

12月21日から1月20日までの約1ヶ月間のセミナー及び書籍の
Webページアクセス数Top10を挙げてみました。

..... ★ セミナー Top10 ★

第1位 『ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車・
電気自動車のバッテリーシステムの技術開発動向』
(2月24日(火)開催) 338 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090225.htm>

第2位 『太陽光発電をめぐる政策・市場・技術の最新動向と今後の
ビジネスチャンス』 (2月27日(金)開催) 314 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090227.htm>

第3位 『防爆規格改正のポイントと防爆機器の選定・保守』
(2月25日(水)開催) 313 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090209.htm>

第4位 『“太陽熱利用技術”最前線』
(2月20日(金)開催) 295 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090203.htm>

第5位 『“設備保全の見える化”手法と実際』
(2月18日(水)開催) 277 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090210.htm>

第6位 『エンジニアのためのPID制御技術』
(2月20日(金)開催) 254 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090223.htm>

第7位 『洗淨のメカニズム・洗淨法選定と洗淨性評価』
(2月17日(火)開催) 235 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090222.htm>

第8位 『CO₂排出量・削減量の「見える化」手法』
(2月19日(木)開催) 233 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090218.htm>

第9位 『廃棄物に関わる法規制の詳細解説と事業者の対応』
(2月18日(水)開催) 226 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090208.htm>

第10位 『技術情報データベースの構築と活用法』

(2月27日(金)開催) 215 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20090219.htm>

今回の集計では『ハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車・電気自動車のバッテリーシステムの技術開発動向』が第1位にランクイン。

本セミナーは、低環境負荷やエネルギー効率向上を目指し、開発が活発化しているハイブリッド自動車・プラグインハイブリッド自動車・電気自動車の現状・特徴を始め、バッテリーシステム開発のポイントや技術動向・特性比較、又、今後の技術開発の展望に至るまでを実務の第一線でご活躍されている講師により詳しく解説される講義として注目を集めているようです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

第1位 『レアメタルリサイクル市場の現状と今後の方向性』

470 counts

<http://www.tic-co.com/books/2006tv04.htm>

第2位 『樹脂の硬化度・硬化挙動の測定と評価方法』 451 counts

<http://www.tic-co.com/books/07sta015.htm>

第3位 『燃料油・潤滑油および添加剤の基礎と応用』 351 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta036.htm>

第4位 『ウェットエッチングのメカニズムと
処理パラメータの最適化』

274 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta025.htm>

第5位 『帯電の測定方法と静電気障害対策』

268 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta030.htm>

第6位 『表面・深さ方向の分析方法』

220 counts

<http://www.tic-co.com/books/07sta016.htm>

第7位 『マイクロ・ナノバブル応用商品実用化動向

/用途別潜在ニーズ/研究開発動向実態調査』 199 counts

<http://www.tic-co.com/books/2004tv03.htm>

第8位 『《2006年版》 マイクロ・ナノバブル調査総覧』

195 counts

<http://www.tic-co.com/books/2006tv05.htm>

第9位 『電気二重層キャパシタの高エネルギー密度化技術』

194 counts

<http://www.tic-co.com/books/08sta029.htm>

第10位 『膜による水処理技術の新展開』

192 counts

今回の集計では、『燃料油・潤滑油および添加剤の基礎と応用』が初登場第3位にランクイン。

本書は、潤滑剤の製造方法、種類、化学的組成、機能から潤滑剤の品質、寿命を左右する添加剤の化学構造と作用機構、さらには、潤滑油の市場調査、製造工程管理、競争他社品の解明や新製品開発のための潤滑油と添加剤の分離・分析方法に至るまで、基礎知識も応用技術も平易に解説された書籍として注目を集めているようです。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ _____ ■ □

E-mail変更・不要について

□ ■ _____ ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/melmaga/>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ _____ ■ □

あとがき

□ ■ _____ ■ □

非常に寒い日が続き、風邪やインフルエンザが猛威をふるっています。予防対策としては、よく言われていることではありますが、手洗い・うがいやマスクの着用など、地味なことながらこのようなことの積み重ねが大切だそうです。その中でもマスクは、風邪の原因となるウィルスのほとんどをカットするN95マスクも既に商品化され、付け方も隙間なくすっぽり覆うようにするなど、その選び方・使い方でかなりの効果をあげることができますので、今まであまりマスクを使用されておられなかった方も、是非、ご使用になってみては如何でしょうか。

当メールマガジンへのご意見・ご要望等は melmaga@tic-co.com
にて承っておりますので、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 -その先の、深い情報へ- 』

(株)技術情報センター

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com

[TEL] 0120-06-0140

[FAX] 06-6358-0134